

鳥取工業高校 学力向上を目指す取り組み

～ R80(アールエイティ) に挑戦 ～ 学力向上検討委員会

昨年(令和元年)度、本校の学力向上職員研修会にて「R80」という取り組みを学びました。

これは、茨城県立並木中等教育学校前校長(現 一般社団法人アクティブ・ラーニング協会代表理事)中島博司先生によって考案されたものです。

最初は1クラス程しか取り組んでいませんでしたが、今では授業終了時の振り返りとして、様々なクラス、教科で取り組みが広がっています。

中島考案「R80」

- 読みは「アールエイティー」
- 「リフレクション(振り返り)」と「リストラクチャー(再構築)」のR
- ALの最後にリストラクチャーして各自が**80字以内**で書く
- 2文**(2センテンス)で書く。2文を**接続詞**で結ぶ。
- 目的は、思考力・判断力・表現力、**論理力**の育成
→ **学力向上**
- そして、「大学入学共通テスト」の**記述式問題**への対応



中島博司先生

アクティブ・ラーニング(AL)の先には「論理力」がある。

リフレクション(ふりかえり)を実施することで生徒の「表現力」・「思考力」・「論理力(相手の主張の筋道を読み解き自分の考えを整理して伝える力:出口汪先生)」が身につくことが実感できる。



本日の振り返り＝今日の自分の気づきは？

①本日の授業全体を3段階で自己評価(「学欲力」度)はどれになるか☑をつけよう

☐3:「学欲力」全開(理解しよう・工夫しよう・わからないを楽しもう)

☐2:「学欲力」「教わり家」半々(何とかしたいけれど、答えを写す聞く)

☐1:「教わり家」全開(答えを写す聞く。少し答えを持っている人にベッタリ)

②本日の授業で自分ができたことに☑をつけよう

☐会話する ☐質問する ☐教える

☐聴く(傾聴:人の話を耳と目と心で丁寧に聴く)

☐対話(授業内容をグループ同士で深め合う)

☐グループの仲間を尊重する(フルバリュー)

☐グループで分からないことを勇気を出し教え合う(チャレンジバイチョイス)

☐自分が暇にならない

☐自分がフリーライダーにならない

③本日の授業の感想

本日のふりかえり～R80(アールエイティー)～												
タイトル												
												20
												40
												60
												80
下書き												
												20
												40
												60
												80
R80に関する解説												
基本事項	R80の読み方は「アールエイティー」です。 Rは、リフレクション(reflection)と、リストラクチャー(restructure)のRです。 80は、80字以内で書くという意味の80です。											
基本的な 使用法	①アクティブ・ラーニング(AL)の最後に、リフレクション(振り返り)として、ペアやグループで話し合ったことを、自分でリストラクチャー(再構築)して、80字以内で書きます。 ②必ず、2文(2センテンス)で書き、2文を接続詞で結びます。 ③下書き欄やFREE欄の使い方については、先生の指示を受けてください。											
使用する 接続詞の例	●順接(したがって、ゆえに、だから) ●逆接(しかし、だが、ところが) ●並列(また、ならびに、かつ) ●対比(一方) ●換言(つまり、すなわち) ●理由説明(なぜなら) 他											